

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

第10回宮城民医連学術運動交流集会

健康・豊かさってなんだろう？
～今こそ知ろうWell-being～

記念講演講師 東海林 渉氏
(東北学院大学教養学部人間科学科准教授)

2023年
日付▶7月23日(日) 9:00～受付
場所▶フォレスト仙台 9:30～開会式

お問合わせ▶県連事務局熊谷(内線7924)・高橋(内線7915)

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
仙台市青葉区木町通1-8-18
〒980-0801 田村ビル5F
TEL 022-265-2601
FAX 022-263-8266
e-mail:dai@miyagi-min.com
発行人 坂田 匠
1日・15日 月2回発行 1部50円



健診前の打ち合わせ

第10回 白石市越河原発被ばく健診

不安を抱えている人に寄り添い、健診の継続を

3月18日、みやぎ県南医療生協しばた協同クリニックで、白石越河原発被ばく健診が行われました。第10回目の今回は、

他人事ではない 母親の痛み

訪問看護
ステーション 柚子
看護師
佐藤 千恵子

医師1名、保健師2名、看護師3名、検査技師5名、事務3名の合計14名が参加。白石市越河地区だけでなく、丸森町から健診希望者を募り、17名が受診しました。健診対象者は11～22歳で、当時0～10歳の乳児・幼児・学童期の方。丸森町の健診で指摘され、町からこの被ばく健診を紹介されたの来院でした。

健診では、採血・採尿検査と矢崎とも子医師の診察介助をしました。矢崎医師の診察は、本人・保護者の方へ問診、聴診から甲状腺エコー結果までと、わかりやすく丁寧な説明で関心が持てる内容でした。

診察介助をする中で、

診察を受けている子どもの傍らに、ひとしきり心配そうな表情の母親たちのことが印象に残りました。原発事故後から12年、消えぬ放射線による身体への影響、唯一県内で甲状腺検査が行われていた丸森町でも検査が終了となり、「今後はどうしたらいいのかわからない」という甲狀腺がんのリスクはないのか、「この子だけではないか」という対象とならなかつた子どもたちのことも心配」と、どの母親たちも心痛な悩みを話してくれました。

私も、今回の健診を受けた母親たちと同年代で、同時期に出産と育児を経験しています。そして、丸森は私の出身地でもあり、人ごとのように思えない気持ちもありました。矢崎医師は、1つ1つ母親たちの訴えと悩みを親身に答え、診察後の母親たちは安心したような表情で診察室を後にしました。

12年の月日が経過していますが、風評被害や健康への影響に関する不安は、今後も続いていく大きな課題です。健診を通じて、一人でも多くの不安を抱えている人に寄り添い、一つでも悩みを解決できるように被ばく者健診の継続を願うと共に、今後も関わっていかれたらと思います。

被ばくに対する不安が少なくなるように

坂総合病院 臨床検査技師
佐藤 恵美

当日は生理検査室の要員として心電図検査を担当し、児童8名の測定を行いました。使い慣れていない心電計に気を取られ、健診に来た子どもたちに話しかける余裕もなく右往左往してしまい、

配慮に欠ける対応になってしまったかもしれないと反省しています。

普段は、生理検査室内で他職種の方々と接することが少ないため、矢崎とも子医師をはじめ、保健師、看護師、事務の方と近い距離で仕事をさせていただけただけことは私にとって新鮮な体験で、来院された方々への問診、聴診、検査結果の説明のやり取りなどを聞くことができてとても勉強になりました。特に、矢崎医師の子どもたちにも伝わる

2022年度宮城民医連慢患合同交流集会開催

減塩をテーマに パネルディスカッション

2022年度宮城民医連慢患合同交流集会が3月25日に坂総合病院セミナー室とWebにより開催され32名が参加しました。

内容は各事業所の血糖コントロール等の状況報告「減塩」についての討論でした。

まず県内11事業所(くりこまクリニック、中新田民主病院、古川民主病院、松島海岸診療所、北部診療所、坂総合病院、仙台錦町診療所、泉病院、長町病院、若林クリニック、しばた協同クリニック)の2022年12月の血糖コントロール状況(平均年齢・平均HbA1c・HbA1c毎の割合と人数・慢患登録者数・外来通院者数)の報告がありました。平均年齢が一番高いのは77.9歳の北部診療所、慢患登録患者数は県連全体で6813人でした。事業所の活動や近況報告を各々事業所毎に行い、動画での報告もありました。

次に「減塩」をテーマに、長町病院管理栄養士の高橋朋子さん、セントラルキッチン栄養士の

よう噛み砕いたわかりやすい説明とフランクな接し方は、小児科の心電図や脳波検査、次回の健診の参考になりました。

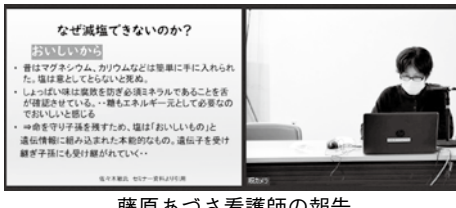
また、健診終了後に甲状腺エコーの判読会に参加し、エコー所見と生化学データをともに検査に誤りがないか確認すると共に、今後より良く活動に取り組みることができるよう、課題と改善点を医師、保健師、検査技師、事務と情報共有しました。

今回の健診は検査対象者が限られていましたが、健診を希望する声が多くあったと聞きました。実際にはさらに受診される方がいたと考えられます。しかし、それを実現するには人員や日程などの検討が必要で1日で全員を検査するのは難しく

現実的ではありません。今回は心電図検査の担当となりましたが、検査技師として甲状腺エコーの知識・手技を身に付け、健診の回数や受診受け入れ人数を増やして、放射線被ばくに不安を感じている子どもたちやその家族が少なくなるように、今後この活動に関わっていきたいと思います。私は、2年ほど前に北海道から宮城県へ移住し土地も無く、健診が行われる地域へ向かうことも初めてのことでした。調べてみると、白石市には武家屋敷や指定文化財があり、丸森町は自然が豊かな地域で舟下りが有名とのこと。機会があれば健診の要員としてではなく、観光目的でも足を運んでみたいです。

友廣悠喜さん、つばさ薬局多賀城店薬剤師の野村華子さん、しばた協同クリニック看護師の藤原あづささんによるパネルディスカッションの後、総合討論を行いました。総合討論では事業所の工夫や、使用しているものなどを紹介してもらいました。

終了後のアンケートでは、「日頃、県連内の他事業所の方と話したり交流したりすることがなく、特にコロナ禍でそういうことがなかった」「県連内の交流はとても



藤原あづさ看護師の報告

健康手帳

5月に入り春の陽気を感じつつ、寒暖差が多い時期ですね。また5月8

日から新型コロナウイルスは感染症5類になり、学校行事や地域の催しも再開され始めています。学生にとっては制限の多い生活。大人も大なり小なりの影響がみなさんにあつたと思います。コロナ禍からの生活も戻りつつある中、GWが過ぎた後の楽しみを夏休みに計画をする方も多いのではないのでしょうか。▼個人的なことですが今年度の目標は二つ。一つは旅行です。最後に家族旅行をしたのは4年前の夏。今年こそと意気込みはあるのですが、子ども達も成長し、部活動や県外への大学進学で一人暮らしを始めた息子もおり、行き先は未定ですがスケジュールを調整し実行したいと思えます。▼二つ目は、剣道のルールを学ぶこと。理由は今年中学へ入学し剣道部へ入部した娘。親も兄も本人も未経験ですが、剣道部を選んだ理由は「部活体験をして楽しかったから」と嬉しそうに話していました。その新鮮な気持ちに癒されました。これからの学生生活を存分に楽しんで送ってほしいです。そして、剣道部は親の会もあるのですが、三年間支援していきたいと思えます。



環境問題と私

第15回

坂総合病院 医師 矢崎 とも子

北上川の橋向かいにあった、石巻市民会館での衝撃的なクライマックスは今も胸の奥に焼き付いている。原発で臨界事故が起き、空は赤く燃え、阿鼻叫喚の中、人々が逃げ惑う。そのあとに訪れる異様な静けさの中、あきらめをもって座りこむ人の姿…。劇団青年劇場の「臨界幻想」を見たのは40年近くも前。女川原発1号機は稼働直前であった。「何でこんな怖いものを作ってしまったの?」「どうして止めてくれなかったの?」「高校生だった私の強い強い憤り。その思いをずっと抱

えながら生きてきたが、抱えるだけで発信しなかった慚愧は今も重くのしかかる。黙っていることは認めていることと同じだ。

東京電力福島第一原発の事故は未だに多くの住民の、故郷を、仕事を、生きがいを、生活を奪い続けている。地元の人たちの必死の運動の積み重ねで、奇跡的に事故に至らなかつた女川原発。その再稼働が目前に迫った今、12年もの間、辛酸をなめ続けさせられてきた福島の人たちに思いを寄せ、失われた命に心を締め付けられながら、声を

上げ続けなければならぬと思う。

おなかの赤ちゃんが元気に生まれるように願い食べた新鮮な海の幸が原因で、生まれられなかつた命・重い障害を持つて生まれてきた命・一生生涯差別を受けながら生きていく命…。原因の有機水銀が、日本の工業発展のため、企業の利益のため、何十年も垂れ流し続けられた水俣湾。人の命をなさんだと思っているのか。被害にあった人がいかに悪者であるかのように、触れ回り、差別し、分断する。責任をあいまいにし、被害を最小限に見せ

ようとすると企業。空気も大地も水も、私たちが取り巻くすべてのものが、いつ何に汚染されるか分からない。米軍が埋めたPFAS・日本軍が埋めた毒物…。誰もが同じ立場に立たされる可能性がある。自分や家族だけが良ければいいの。28代さかのぼれば1億人が血族となるという。人類皆親戚である。何事も自分事として考える、そんな想像力と柔軟性を持つ人間であり続けたいと思う。



樋口元裁判長との質疑応答

「原発は許されない」

私たちは真実を伝え続けよう

4月22日、県連理事会オープン企画として、元福井地裁裁判長の樋口英明さんを講師に「私が原発を止めた理由」本日は誰にでもわかる原発裁判の学習講演会を開催しました。坂総合クリニック8階会議室では23名が、オンラインは24名が参加しました。初めに「物事の本質をとらえることが大切」と強調した樋口さん。原発問題の本質は、①止めても人が管理し続けないといけない、②人が管理し続けた時の被害は計り知れない

と話されました。「自動車や電化製品が故障した場合、電源を切れば止まりますが、原発は違います。運転を止めても、冷やし続けなければいけません。止めそこなうと大惨事となります」原発をとめるべき当たり前すぎる理由として、「①原発の過酷事故は極めて寛大な被害をもたらす、②原発には高度の安全性(事故発生率が低いこと)が求められる、③故に地震大国の日本では、原発に高度の耐震性が求められる、④しかし、わが国の原発の耐震性は極めて低い。よって、原発の運転はゆるぎがない」と樋口さんは話しました。

「止める」「冷やす」「閉じ込める」と指摘。福島第一原発2号機は、停電で運転停止後の格納容器を冷やすことができずに事故を起こしました。格納容器の構造工事の遅れ等の奇跡が重なり、壊滅的な事故を免れたものの、15万人余りが避難し、避難先から未だに戻れない方がいます。「日本の領土が奪われたに等しい」と話されました。

樋口さんは、3・11を経験した我々の責任は重いと強調。その理由として、使用済み核燃料は科学的に処理ができない、原発事故は停電や断水でも起きるし、起きた場合の被害は250キロ圏に及ぶ、原発は見当はずれの低い耐震性で作られていることが判明(一般の住宅メーカーの基準より遥かに低い)、3点を指摘。

「毅然と、断固として、真実を伝え続けよう」と訴えました。

劇場版

「荒野に希望の灯をともし」 先行試写会開催

5月13日、故中村哲医師の現地活動35年を追ったドキュメンタリーの完全版、劇場版「荒野に希望の灯をともし」の試写

会が仙台メディアテーク7Fスタジオシアターで開催され、会場には約80人が訪れました。

初めに、上映実行委員会・代表世話人の出浦秀隆さんから「非業の死を遂げた中村先生が残した数々の言葉をみなさんに噛みしめていただき、この輪が広がることを願います」とあいさつがありました。

劇場版は2022年に完成した作品でDVD版とは異なり、2019年に中村医師が凶弾に倒れた後の、アフガニスタンの状況が描かれています。これまでテレビで伝えてきた内容と未公開映像、現地最新映像を加えリメイクしたものです。中村医師はアフガニスタンとパキスタンで病や貧困に苦しむ人々に寄り添っていただけ

り添い続け、戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設しました。医師が用水路を建設した理由は何か…。

上映後、撮影と監督を務めた谷津賢二さんのあいさつがありました。「中村先生は言葉では言い表せないほどの大きな方。あえて言うなら『仁と義』。他者をいつくしみながら正しく生きる方」「普段は寡黙なおじさんで患者を前にすると医師に変わります」「先生の言葉は端的に物事の本質を表す。たかさんの人を励ます」「現地で敬愛され続けている中村先生の映画を広



中村哲医師について話す谷津賢二監督

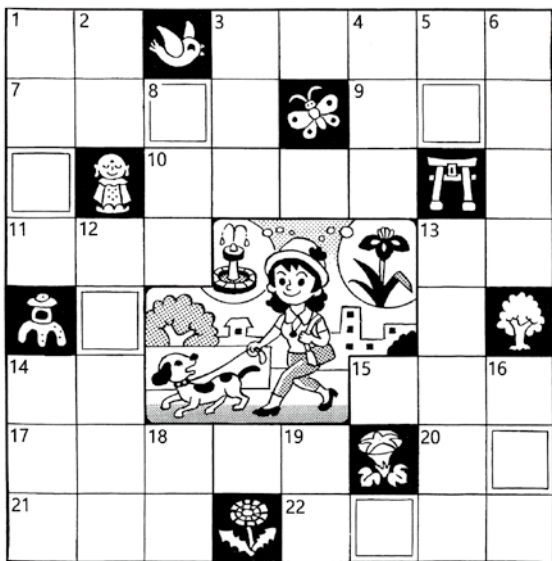
たら幸いです」と話されました。

仙台市での上映は、6月8日・9日、メディアテークスタジオシアター、6月10日、エル・パーク仙台ギャラリーホールです。各法人・事業所へチラシを配布しています。お問い合わせは、県連事務局熊谷まで。

クロスワード



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの6文字をうまく並べてできる言葉は? (作・モロズミ勝)



11 109 731 ヨコのカギ
これが降ると地が固まる。新5千円札の顔です。今年中にインドが中国を上回る。かき。...

21 2017 151413 開……干……魚……おにぎり、スパゲティ、お茶漬けの具材といえは、お互いの顔を知っている仲間。今年で発売40周年を迎えた時計……シヨック

6 5 4 3 2 1 タテのカギ
梅雨の時期に咲き誇る花。乃木坂46で推し……は誰? 電話で話します。岐阜・長良川の夏の風物詩。手術で使う道具の一つ。コミケは都内で年2回開か

1918161413128 れる……マーカーのこと。水……枕……砂糖。百目下といえは、この人。児童向け海洋小説の代表格。漢字では「百足」と書く。トウモロコシです。札幌から始まる千里の……札幌市を象徴する花水ライ

クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは不可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていただきます。応募資格「臨時・パート含む県連職員。締切7月1日当日消印有効。発表7月15日号。4月15日号答へ左奥の山の形。②左の人の右袖。③その人の左手。④バイク前輪の泥よけ。⑤右の人のゴーグル。⑥サイドカーの横のデザイン。⑦右端の飛び散った花の有無。応募総数8件。当選者「土村まどか/坂総合病院、芳賀明子/南光台地域包括支援センター、大沼晴与/田子のまち、村上春枝/田子のまち、菊地秀子/長町病院。(敬称省略)